

ラムおよび講演抄録集：132頁, 2021.

- 19) 高橋直紀, 峯尾修平, 多部田康一: 超音波スケーラーから発生するエアロゾル特性と口腔内外吸引装置の拡散防止効果②—小粒径エアロゾルの粒径分布とその吸引効果の検討—. 第64回秋季日本歯周病学会学術大会, 名古屋, 2021年10月15日, プログラムおよび講演抄録集: 134頁, 2021.
- 20) 高橋直紀, 山縣貴幸, 峯尾修平, 加藤光太, 多部田康一: 超音波スケーラーから発生するエアロゾルに対する吸引装置の飛散防止効果—流体力学および模擬臨床的検討—. 第155回日本歯科保存学会2021年度秋季学術大会, web開催, 2021年10月28日~11月10日, プログラムおよび講演抄録集: 45頁, 2021.
- 21) 日吉 巧, 土門久哲, 前川知樹, 田村 光, 笹川花梨, 多部田康一: エラスターゼの歯肉上皮バリア傷害作用を介した歯周組織破壊機序の解析. 第155回日本歯科保存学会2021年度秋季学術大会, web開催, 2021年10月28日~11月10日, プログラムおよび講演抄録集: 118頁, 2021.
- 22) 田村 光, 前川知樹, 土門久哲, 日吉 巧, 多部田康一: 老齢マウスにおける DEL-1 を介した骨代謝機構の制御. 第155回日本歯科保存学会2021年度秋季学術大会, web開催, 2021年10月28日~11月10日, プログラムおよび講演抄録集: 119頁, 2021.
- 23) 小林亮太, 干川絵美, 佐藤大祐, Orakarn Suebsamarn, 内藤絵里子, 鈴木絢子, 富原 圭, 泉 健次: 細胞品質評価ツールとして口腔粘膜角化細胞に対する非侵襲的運動能測定の有用性に関する検討. 第57回日本口腔組織培養学会学術大会・総会, web開催, 2021年11月6日, プログラムおよび講演抄録集: 3頁, 2021.
- 24) 平山 悟, 土門久哲, 日吉 巧, 磯野俊仁, 田村 光, 笹川花梨, 滝澤史雄, 寺尾 豊: 肺炎球菌トリオースリン酸イソメラーゼは宿主プラスミノゲンに結合し活性化を促進する. 第95回日本細菌学会総会, web開催, 令和4年3月29~31日, プログラムおよび講演抄録集: 96頁, 2021.
- 25) 土門久哲, 磯野俊仁, 日吉 巧, 田村 光, 笹川花梨, 前川知樹, 平山 悟, 柳原克紀, 寺尾 豊: 肺炎球菌ニューモリシンの発現に対するマクロライドの作用解析. 第95回日本細菌学会総会, web開催, 令和4年3月29~31日, プログラムおよび講演抄録集: 105頁, 2021.

【受賞】

- 1) 日吉 巧: 好中球エラスターゼによる歯周炎重症化メカニズム解析と新規治療法への応用. 新潟歯学会

2020年度新潟歯学会学術賞(歯学会奨励賞), 2021年4月17日.

- 2) 小林哲夫: 関節リウマチ患者における歯周炎症表面積と好中球細胞外トラップ血清濃度および疾患活動度との関連. 第65回日本リウマチ学会総会・学術集会 秀逸ポスター賞, 2021年4月26日.
- 3) 田村 光: エリスロマイシンの DEL-1 誘導による骨免疫制御作用の解析. 日本骨免疫学会 優秀演題賞, 2021年6月30日.

【その他】

- 1) 小林哲夫: 「歯周病と身体の病の関係」. 健康カプセル! ゲンキの時間(TBS系全国ネット・CBC発), 2021年6月20日.
- 2) 高橋直紀: 「知っていますか? 歯周病が全身に及ぼす影響—栄養と歯周病・全身疾患の関わり—」. 株式会社オクタウェル管理栄養士スキルアップセミナー, web開催, 2021年6月26日.
- 3) 小林哲夫: 「関節リウマチと歯周病の関わり」. 第7回若手膠原病セミナー, web開催, 2021年11月30日.

歯科矯正学分野

【著書】

- 1) 齋藤 功, 小林正治: 顎変形症とは. 日本顎変形症学会・編; 顎変形症治療の基礎知識, 東京 2022.5.10, クインテッセンス出版, 8-9頁.
- 2) 齋藤 功: 顎態と機能との関連性の追究—咀嚼能力および嚥下時筋活動と舌圧発現様相—. 『第24回日本歯科医学会学術大会 記録集』, 東京, 2022.5.25, 医歯薬出版株式会社, 111頁.
- 3) 齋藤 功: 「適切な矯正歯科治療の再確認と今後の展望」. 北峯康充編; 臨床家のための矯正 YEAR BOOK 2022, 東京, 2022.10.10, クインテッセンス出版, 192-195頁.

【論文】

- 1) Osawa K, Nihara J, Nishiyama H, Takahashi K, Honda A, Atarashi C, Takagi R, Kobayashi T, Saito I: A three-dimensional investigation of mandibular deviation in patients with mandibular prognathism. Maxillofac Plast Reconstr Surg. 45(1):4, 2023. DOI: 10.1186/s40902-023-00372-y.
- 2) Thant L, Kaku M, Kakihara Y, Mizukoshi M, Kitami M, Arai M, Kitami K, Kobayashi D,

- Yoshida Y, Maeda T, Saito I, Uoshima K, Saeki M. Extracellular Matrix-Oriented Proteomic Analysis of Periodontal Ligament Under Mechanical Stress. *Front Physiol.* 20(13):899699, 2022.
- 3) Salaza EAR, Kodama Y, Yuki R, Ominato R, Nagai T, Watanabe M, Yamada A, Kobayashi R, Ichikawa K, Nihara J, Iida A, Ono K, Saito I, Takagi R: Occlusal evaluation using Modified Huddart and Bodenham scoring system following two-stage palatoplasty with Hotz plate: A comparison among three different surgical protocol. *CPCJ: 2022 (April)*. DOI: 10.1177/10556656221093293
 - 4) Kudo T, Kawasaki M, Kawasaki K, Meguro F, Nihara J, Honda I, Kitamura M, Fujita A, Osawa K, Ichikawa K, Nagai T, Ishida Y, Sharpe PT, Maeda T, Saito I, Ohazama A. Ift88 regulates enamel formation via involving Shh signaling. *Oral Dis.* 29(4):1622-1631, 2023. DOI: 10.1111/odi.14162.
 - 5) Hasegawa M, Piriyaprasath K, Ohtake M, Kamimura R, Saito I, Fujii N, Ymamura K, Okamoto K: Effect of daily treadmill running exercise on masseter muscle nociception associated with social defeat stress in mice. *Eur J Oral Sci.* e12882, 2022. DOI: 10.1111/eos.12882
 - 6) Thant L, Kakihara Y, Kaku M, Kitami M, Kitami K, Mizukoshi M, Maeda T, Saito I, Saeki M. Involvement of Rab11 in osteoblastic differentiation: Its up-regulation during the differentiation and by tensile stress. *Biochem Biophys Res Commun.* 624:16-22, 2022.
 - 7) Kamimura R, Hossain MZ, Takahashi K, Saito I, Kitagawa J: Attenuation of allodynia and microglial reactivity by inhibiting the degradation of 2-arachidonoylglycerol following injury to the trigeminal nerve in mice. *Heliyon* 30;8(8): e10034. DOI: 10.1016/j.heliyon.2022.e10034. eCollection 2022 Aug.
 - 8) Hara T, Saito D, sakuma H, Niimi K, Nihara J, Saito I, Kobayashi T: Comparison of three-dimensional facial morphologies acquired with digital stereophotogrammetry imaging system and computed tomography. *J Oral Maxillofac Surg Med Path* 34(2): 120-125, 2022. DOI:10.1016/j.ajoms.2021.08.016
 - 9) Kawamura T, Fukui T, Nishiyama H, Kobayashi T, Takagi R, Hayashi T, Saito I: Three-dimensional analysis of the temporal bone and mandibular morphology in mandibular prognathism with facial asymmetry. *Oral Sci Int* 19(1): 44-51, 2022. DOI: 10.1002/osi2.1111
 - 10) Endo S, Niimi K, Kato Y, Nohono K, Hasebe D, Hayashi T, Saito I, Kobayashi T: Examination of factors affecting condylar bone changes following surgical-orthodontic treatment, *CRANIO*, 2022. DOI: 10.1080/08869634.2022.2118263
 - 11) Kasahara M, Sakuma H, Hasebe D, Saito D, Kato Y, Osawa K, Saito I, Kobayashi T: Surgical orthodontic treatment of a patient with trichorhinophalangeal syndrome: A case report. *J Oral Maxillofac Surg Med Path* 35(2): 153-157, 2022. accepted on 080822
 - 12) 新美奏恵, 竹内涼子, 船山昭典, 丹原 惇, 齋藤 功, 小林正治: Orthognathic Quality of Life Questionnaire 日本語版の信頼性と妥当性の検討. *日顎変形誌* 32(1): 15-22, 2022.
 - 13) 大湊 麗, 小野和宏, 児玉泰光, 結城龍太郎, 永井孝宏, 小林亮太, 小林孝憲, 飯田明彦, 濃野要, 宮田昌幸, 小林正治, 齋藤 功, 高木律男, 富原 圭: 二段階口蓋形成手術法における幼児期前期の言語管理に関する検討—口蓋化構音と硬口蓋残遺裂の関連性にもとづいて. *日口蓋誌* 47(1): 20-29, 2022.
 - 14) 結城龍太郎, 児玉泰光, Andrea Rei Estacio Salazar, 大湊 麗, 永井孝宏, 山田 茜, 小林亮太, 市川佳弥, 丹原 惇, 加藤純也, 朝日藤寿一, 飯田明彦, 小野和宏, 齋藤 功, 高木律男: 片側性唇顎口蓋裂児の二段階口蓋形成手術後の 5-Year-Olds' Index での評価—軟口蓋形成法および硬口蓋閉鎖時期の影響. *日口蓋誌* 47(3): 200-209, 2022.
- 【研究費獲得】**
- 1) 齋藤 功, 丹原 惇, 藤田 瑛: 生体力学的観点から顎変形症の治療基準を探る. 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金), 基盤研究(C) (一般): 22K10266, 2022.
 - 2) 高橋功次朗: 口腔機能発達不全の"定量化": エラストグラフィによる咀嚼機能評価法の確立. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 21K17180, 2022
 - 3) (延長分) 大森裕子: 安全な歯科治療のためのレオロジー-超音波で硬化を操る印象方法の開発-. 平成 30 年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 若手研究, 18k17279, 2018.
 - 4) 北見公平: 力学的刺激による歯根膜の階層的細胞応答メカニズムの解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 21K17179, 2022.

- 5) (延長分) 北見公平：矯正力に対する歯根膜の部位特異的な組織応答メカニズムの解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 19K19288, 2022.
- 6) 市川佳弥：鼻部-口蓋発生間の関連性の検索. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 22K17248, 2022.
- 7) 栗原加奈子：舌圧と口唇・頬圧の同時測定による骨格性開咬症の新たな機能的解析法の確立. 学術研究助成基金助成金 若手研究, 20K18662, 2020. (延長)
- 8) 水越 優：矯正力に誘導される破歯細胞の供給ならびに分化成熟動態の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 21K17155, 2021.
- 9) 大澤知朗：中顔面形成における microRNA の機能解析. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 21K17157, 2021.
- 10) Lay Thant：Characterization of ROCK inhibitor-treated extracellular vesicles and analysis of their effect on osteogenesis. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 22K17135, 2022.
- 11) 工藤武久：エナメル形成におけるライオニゼーションの解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 22K17249, 2022.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 高橋 哲, 齋藤 功：シンポジウム・外科矯正「口唇口蓋裂の外科的矯正治療を再考する」コーディネーター. 第 46 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 2022 年 5 月 26 日～27 日, 鹿児島市.
- 2) 齋藤 功, 上木耕一郎：シンポジウム「顎変形症患者の顎口腔機能と口腔リハビリテーション」座長. 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 2022 年 6 月 9 日～10 日, 新潟市.
- 3) 深町直哉：「骨格性下顎前突症における顎矯正手術前後の咀嚼能力と顎顔面形態の関連」. 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 新潟市, 2022 年 6 月 9～6 月 10 日, (日顎変形誌 32(2)112-113, 2022).
- 4) 齋藤 功：矯正歯科治療における形態と機能の関わりー開咬症を含む顎変形症を中心にー. 第 63 回北海道矯正歯科学会総会・学術大会 特別講演, 2022 年 6 月 20 日, 札幌市, 北海道矯歯誌 50 : 33 頁, 2022 (抄録集 p.10-11, 2022).
- 5) 北見公平, 齋藤 功：永久歯先天性欠如に関する知見と補綴併用の考察. 第 37 回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2022 年 6 月 26 日, Web 開催, 2022 (抄録集 : 22 頁).
- 6) 齋藤 功：新潟大学医歯学総合病院矯正歯科における連携医療の実践と臨床研究. 創立 90 周年記念記念講演 I 第 81 回東京矯正歯科学会学術大会, 2022 年 7 月 6 日～7 日, 東京 (抄録集 p.18-19).
- 7) 齋藤 功：教育講演『矯正歯科治療における歯根吸収 (最新版)』, 座長 (コーディネーター), 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会&第 9 回日韓ジョイントシンポジウム, 2022 年 10 月 5 日～10 月 7 日, 大阪市 (抄録集 p.79-81).
- 8) 齋藤 功, Back Seung-Hak：日韓ジョイントシンポジウム『矯正歯科治療による顎口腔領域における機能の改善と健康の増進』, 座長 (コーディネーター), 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会&第 9 回日韓ジョイントシンポジウム, 2022 年 10 月 5 日～10 月 7 日, 大阪市 (抄録集 p.69-78).

【学会発表】

- 1) Sakamoto T, Okayasu M, Sasaki Au, Tsuchimochi T, Nagahama R, Kondo S, Yamamoto Y, Mori H, Morishita T, Takahashi I, Ishii T, Miyazaki H, Suda N, Susami T, Saito I : Survey of orthodontic and surgical treatment in team care for patients with hemifacial microsomia. 14TH International Cleft Congress, July 11th -15th, 2022, Edinburgh, Scotland, UK.
- 2) Zhenga Z, Hasebe D, Kasahara M, Saito N, Saito D, Sakuma H, Nihara J, Saito I, Kobayashi T: Surgical orthodontic treatment indicators in combination with Index of Orthognathic Functional Treatment Need (IOFTN) and maxillofacial morphometric analysis. 61st Annual Meeting of Korean Association of Maxillofacial, Plastic and Reconstructive Surgery, October 28th ~October 29th, 2022, Seoul, Korea.
- 3) Takeuchi R, Ominato R, Niimi K, Nihara J, Takeyama M, Saito I, Kobayashi T: Impact of orthognathic surgery on velopharyngeal function in cleft palate patients. 61st Annual Meeting of Korean Association of Maxillofacial, Plastic and Reconstructive Surgery, October 28th ~October 29th, 2022, Seoul, Korea.
- 4) 笠原公輝, 佐久間英伸, 加藤祐介, 長谷部大地, 大澤知朗, 齋藤 功, 小林正治: 外科的矯正治療を施行した Tricho-rhino-phalangeal syndrome の 1 例. 第 76 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 福岡市, 2022 年 4 月 21 日～23 日.

- 5) 飯田明彦, 隅田賢正, 高木律男, 富原 圭, 村上智子, 齋藤 功, 阿部達也, 丸山智史, 田沼順一: 難治性急性リンパ性白血病を発症した唇顎裂児への顎裂部腸骨移植経験. 第46回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 2022年5月26日~27日, 鹿児島市(日口蓋誌47(2):148頁, 2022).
- 6) 児玉泰光, 結城龍太郎, 小林亮太, 山田 茜, 永井孝宏, 大湊 麗, 池田順行, 市川佳弥, 丹原 惇, 齋藤 功, 富原 圭: 三次元デジタル画像を用いた片側性唇顎口蓋裂患児の咬合評価に関する予備的研究. 第46回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 2022年5月26日~27日, 鹿児島市(日口蓋誌47(2):157頁, 2022).
- 7) 寺田愛希, 市川佳弥, 丹原 惇, 宮田昌幸, 若槻華子, 児玉泰光, 小林正治, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院においてPNAM治療を行った片側性唇顎口蓋裂児における外鼻形態変化の長期的評価. 第46回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島市, 2022年5月26日~27日, (日口蓋誌;47(2):179頁, 2022).
- 8) 竹内涼子, 大湊 麗, 新美奏恵, 丹原 惇, 竹山雅規, 宮田昌幸, 齋藤 功, 小林正治: 顎矯正手術が口蓋裂患者の鼻咽腔閉鎖機能と言語機能に及ぼす影響の検討. 第46回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 2022年5月26日~27日, 鹿児島市(日口蓋誌47(2):130頁, 2022).
- 9) 深町直哉, 栗原加奈子, 阿部 遼, 長崎 司, 三村俊平, 小野高裕, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における外科的矯正治療前後の咀嚼能力の縦断的評価. 第32回日本顎変形症学会総会・学術大会(ハイブリッド開催), 新潟市, 2022年6月9~6月10日, (日顎変形誌32(2):186頁, 2022).
- 10) 丹原 惇, 高橋功次郎, 小林正治, 齋藤 功: 外科的矯正治療を適用した脊髄小脳変性症を伴う骨格性下顎前突症の1例. 第32回日本顎変形症学会総会・学術大会(ハイブリッド開催), 2022年6月9日~10日, 新潟市(日顎変形誌32(2):218頁, 2022).
- 11) 工藤武久, 丹原 惇, 北村 円, 大峽 淳, 齋藤功: Ifit88はShhシグナル経路を介してエナメル形成を調節する. 第37回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2022年6月26日, 2022(抄録集:39頁).
- 12) 新ちひろ, 丹原 惇, 西山秀昌, 児玉泰光, 大澤知朗, 小林正治, 齋藤 功: クラスター分析を用いた骨格性下顎前突症患者における上顎骨形態の3次元解析. 第37回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2022年6月26日, (抄録集:40頁).
- 13) 栗原加奈子, 齋藤 功: 下顎骨軽度左方偏位, 過蓋咬合および叢生を伴う Angle Class I 骨格性Ⅱ級上顎前突症例. 第37回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2022年6月26日, 新潟市, (抄録集46頁).
- 14) 市川佳弥, 丹原 惇, 大竹正紀, 齋藤 功: 上顎右側中切歯の過度な唇側傾斜および叢生を伴う Angle Class II subdivision 歯性上顎前突症例. 第37回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2022年6月26日, Web開催(抄録集53頁).
- 15) 網谷季莉子, 齋藤 功: 下顎の右方偏位および叢生を伴う Angle Class III subdivision 歯性上下顎前突症例. 第37回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2022年6月26日, Web開催(抄録集47頁).
- 16) 大澤知朗, 高橋功次郎, 齋藤 功: 上下顎歯列正中線の右側への偏位および右側第二小臼歯の鉤状咬合を伴う Angle Class I 叢生症例. 第37回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2022年6月26日, Web開催(抄録集48頁).
- 17) 深町直哉, 齋藤 功: 叢生を伴う Angle Class II 開咬症例. 第37回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2022年6月26日, Web開催(抄録集50頁).
- 18) 水越 優, 齋藤 功: 下顎骨の軽度右方偏位を伴う Angle Class II 叢生症例. 第37回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2022年6月26日, Web開催(抄録集54頁).
- 19) 長崎 司, 齋藤 功: 下顎骨の左方偏位を伴う Angle Class II subdivision 叢生症例. 第37回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2022年6月26日, Web開催(抄録集52頁).
- 20) Lay Thant, Masaru Kaku, Yoshito Kakihara, Masaru Mizukoshi, Megumi Kitami, Kohei Kitami, Daiki Kobayashi, Yutaka Yoshida, Takeyasu Maeda, Katsumi Uoshima, Isao Saito, Makio Saeki: Alteration of the ECM composition and fiber organization in periodontal ligament under mechanical loading. 第54回日本結合組織学会学術大会, 大阪, 2022.6.25, (抄録集:110頁).
- 21) 土橋 梓, 加来 賢, Lay Thant, 小野喜樹, 魚島勝美. Periostin knockout 歯根膜細胞における細胞外基質のオミックス解析. 第54回日本結合組織学会学術大会, 大阪, 2022.6.25, (抄録集:120頁).
- 22) 吉田智美, 竹山雅規, 網谷季莉子, 長谷部大地, 小林正治, 齋藤 功: 口腔内装置(OA)を用いた閉塞性睡眠時無呼吸(OSA)患者における顎顔面構造の長期変化. 令和4年度第1回新潟歯学会例会, 新潟市, 2022年7月9日, 新潟歯学会雑誌52(2):43頁, 2022.

- 23) 笠原公輝, 長谷部大地, 原 太一, 須田大亮, 佐久間英伸, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 齋藤 功, 小林正治: 多分割 LeFort I 型骨切り術の術後安定性の検討. 第 60 回日本口腔科学会 北日本地方部会, 2022 年 7 月 9 日~10 日, 札幌市.
- 24) 笠原公輝, 長谷部大地, 齋藤大輔, 齋藤 功, 小林正治: 多分割 LeFortI型骨切り術の術後安定性の検討. 関東形成外科学会第 112 回新潟地方会, 2022 年 7 月 22 日, 新潟市.
- 25) 鄭 琢揚, 長谷部大地, 笠原公輝, 須田大輔, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 丹原 惇, 齋藤功, 小林正治: IOFTN と顎顔面形態分析を併用した外科的矯正治療の適応指標. 第 67 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会, 2022 年 11 月 4 日~6 日 (現地・ライブ配信), 千葉市 (日本口腔外科学会雑誌 68;総会特別号 p.75).
- 26) 上村藍太郎, Mohammad Zakir Hossain, 高橋功次朗, 北川純一, 齋藤 功: 内因性カンナビノイド分解酵素阻害剤による口腔顔面領域の神経障害性疼痛に対する鎮痛メカニズムの検討. 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会, 2022 年 10 月 5 日~10 月 7 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 149 頁, 2022.
- 27) 三村俊平, 栗原加奈子, 深町直哉, 長崎 司, 堀一浩, 大川純平, 竹山雅規, 小野高裕, 齋藤功: ウェアラブルデバイスを用いた骨格性下顎前突症患者における咀嚼行動の臨床的検討. 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会, 2022 年 10 月 5 日~10 月 7 日, (抄録集: 132 頁).
- 28) 新井萌生, 加来 賢, Lay Thant, 岩間 基, 水越優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤 功: 培養歯根膜細胞が分泌する細胞外マトリックスのプロテオーム解析. 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会, 2022 年 10 月 5 日~10 月 7 日, (抄録集: 163 頁).
- 29) 岩間 基, 加来 賢, Lay Thant, 新井萌生, 水越優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤 功: 加齢によりマウス臼歯の有細胞セメント質表層に生じる無細胞セメント質様組織の解析. 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会, 2022 年 10 月 5 日~10 月 7 日, (抄録集: 167 頁).
- 30) 山田貴大, 丹原 惇, 西山秀昌, 小林正治, 齋藤功: 下顎の偏位を伴う骨格性下顎前突症の顎矯正手術後における顎関節形態の変化: 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会, 2021 年 10 月 5 日~10 月 7 日, (抄録集:201 頁).
- 31) 新井萌生, 加来 賢, Lay Thant, 土橋 梓, 岩間基, 水越 優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤 功: SPARC の欠失が歯根膜細胞の線維形成に及ぼす影響のプロテオーム解析. 令和 4 年度第 2 回新潟歯学会例会, 新潟市, 2022 年 11 月 12 日, 新潟歯学会雑誌 52(2): 45 頁, 2022.
- 32) 三村俊平, 栗原加奈子, 深町直哉, 長崎 司, 堀一浩, 大川純平, 竹山雅規, 小野高裕, 齋藤 功: ウェアラブルデバイスを用いた骨格性下顎前突症患者における咀嚼行動の臨床的検討. 令和 4 年度第 2 回新潟歯学会例会, 新潟市, 2022 年 11 月 12 日, 新潟歯学会雑誌 52(2): 46 頁, 2022.
- 33) 長谷部大地, 須田大亮, 齋藤大輔, 竹山雅規, 齋藤 功, 小林正治: 顎矯正手術を施行した重度閉塞性睡眠時無呼吸 (OSA) を伴う顎変形症患者 2 例の検討. 第 21 回 日本睡眠歯科学会総会・学術集会, 2022 年 11 月 19 日~20 日, 名護市.
- 34) 竹元 涼, 高橋功次朗, 小林潤矢, 川合巳佳, 大森裕子, 齋藤 功, 三俣 哲: 口唇周囲の皮膚組織の弾性率測定に特化した測定装置の開発. 第 32 回日本 MRS 年次大会, 2022 年 12 月 5 日~7 日, 横浜市.
- 35) Oomori Y, Takahashi K, Takemoto R, Kawai M, Saito I, Mitsumata T: Development of Elasticity Measurement for Perioral Soft Tissues. International conference on research in science, engineering and technology, Singapore, March 1-2, 2023.
- 36) Takahashi K, Oomori Y, Kawai M, Saito I, Mitsumata T: Gelation Behavior of Polysaccharide/Diatomite Composite Gel and Its Application to Dental Impression Materials. International conference on research in science, engineering and technology, Singapore, March 1-2, 2023.
- 37) Oomori Y, Takahashi K, Kawai M, Saito I, Mitsumata T: Accelerated Release Behavior of Ions Loaded in Diatomite by Ultrasound. International Conference on Recent Advances in Engineering, Technology and Science, Singapore, March 4-5, 2023.
- 38) Takahashi K, Oomori Y, Takemoto R, Kawai M, Saito I, Mitsumata T: Facial Measurement of Elasticity for Soft Material Mimetic to Lip. International Conference on Recent Advances in Engineering, Technology and Science, Singapore, March 4-5, 2023.

【受賞】

- 1) Mizukoshi M., Kaku M., Thant L., Kitami K., Arai M., Saito I., Uoshima K: In vivo cell proliferation analysis and cell-tracing reveal the global cellular dynamics of periodontal ligament cells under mechanical-loading. *Sci Rep* 11, 9813, 2021. <https://doi.org/10.1038/s41598-021-89156-w>
2022 年度日本矯正歯科学会学術奨励賞.
- 2) Oomori Y., Takahashi K., Kawai M., Saito I., Mitsumata T: Accelerated Release Behavior of Ions Loaded in Diatomite by Ultrasound. *International Conference on Recent Advances in Engineering, Technology and Science*, “ARSSS Excellent Paper Award”, Singapore, March 4-5, 2023.
- 3) 三村俊平, 栗原加奈子, 深町直哉, 長崎 司, 堀一 浩, 大川純平, 竹山雅規, 小野高裕, 齋藤 功: ウェアラブルデバイスをを用いた骨格性下顎前突症患者における咀嚼行動の臨床的検討. 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会優秀演題賞.
- 4) 山田貴大, 丹原 惇, 西山秀昌, 小林正治, 齋藤 功: 下顎の偏位を伴う骨格性下顎前突症の外科的矯正治療後における顎関節形態の変化. 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会優秀演題賞.
- 5) 新井萌生, 加来 賢, Thant lay, 土橋 梓, 岩間基, 水越 優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤 功: SPARC の欠失が歯根膜細胞の線維形成に及ぼす影響のプロテオーム解析. 2022 年度新潟歯学会奨励賞.

摂食嚥下リハビリテーション学分野

【著 書】

- 1) 井上 誠: 5. 摂食嚥下リハビリテーション. 脳神経疾患最新治療 2024-2026, 株式会社南江堂.
- 2) 井上 誠: 咀嚼と嚥下の関係. 最新言語聴覚講座 摂食嚥下障害, 医歯薬出版株式会社.
- 3) 井上 誠: 第 4 章災害食の栄養・機能 口腔ケアと誤嚥性肺炎. 災害食の事典, 株式会社朝倉書店, 東京.
- 4) 井上 誠: 1. 咀嚼と口腔機能ー嚥下との関わり. 咀嚼・嚥下・誤嚥性肺炎に関わる基礎知識. JOHNS 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 株式会社東京医学社, 東京.
- 5) 辻村恭憲: 咀嚼. *Crosslink 言語聴覚療法学テキスト*, メジカルビュー社, 129-135, 2022.
- 6) 伊藤加代子: 第 4 章薬理作用 5 口腔乾燥症治療薬. 日本歯科用医薬品集改訂第 5 版 必携! 歯科の処方に役立つ本 (日本歯科薬物療法学会編), 永末書店,

164-165, 2022.

【論 文】

- 1) Takanori Tsujimura, Yuta Nakajima, Titi Chotirungsan, Satomi Kawada, Yuhei Tsutsui, Midori Yoshihara, Taku Suzuki, Kouta Nagoya, Jin Magara, Makoto Inoue: Inhibition of water-evoked swallowing during noxious mechanical stimulation of tongue in anesthetized rats, *Dysphagia*, Online ahead of print, doi: 10.1007/s00455-022-10522-5.
- 2) Wakana Onuki, Jin Magara, Kayoko Ito, Reiko Ita, Satomi Kawada, Yuhei Tsutsui, Yuta Nakajima, Haruka Sakai, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Evaluating the effect of management on patients with oral hypofunction: A longitudinal study. *Gerodontology*, Online ahead of print, doi: 10.1111/ger.12655. 2022.9.
- 3) Kenshu Taira, Yutaka Watanabe, Kazutaka Okada, Miyako Kondo, Maaya Takeda, Kayoko Ito, Junko Nakajima, Masanori Iwasaki, Masataka Itoda, Ken Inohara, Rikimaru Sasaki, Yasuhiro Nishi, Junichi Furuya, Yoshihiko Watanabe, George Umemoto, Masako Kishima, Takashi Tohara, Yuji Sato, Mitsuyoshi Yoshida, Yutaka Yamazaki: Association between denture use and food form in older adults requiring long-term care: A multicenter cross-sectional study. *J Prosthodont Res*, Online ahead of print, doi: 10.2186/jpr.JPR_D_21_00161.
- 4) Pilaiwan Kongma, Narumanas Korwanich, Hanpon Klibngern, Natchaiyant Tavisak, Makoto Inoue, Kanyarat Korwanich: Screening Algorithms for Detecting Dysphagia: A Validation Study of The Thai EAT-10 Combined with the 3-Ounces Water Swallow Test. *Journal of Associated Medical Sciences*, 56 (2): 99-105, doi: 10.12982/JAMS.2023.038.
- 5) Kayoko Ito, Naoko Izumi, Saori Funayama, Kaname Nohno, Kouji Katsura, Noboru Kaneko, Makoto Inoue: Characteristics of medication-induced xerostomia and effect of treatment. *PLoS ONE*, 18(1): e0280224. doi: /10.1371/journal.pone.0280224. 2023.1.
- 6) Taku Suzuki, Sirima Kulvanich, Takanori Tsujimura, Jin Magara, Yasushi Ohnishi, Makoto Inoue: Cause of Impairments of Bolus Transport and Epiglottis Inversion. *Dysphagia*, 37(6): 1858-1860. doi: 10.1007/s00455-022-10421-9. 2022.12.
- 7) Kaoko Hama, Yasuyuki Iwasa, Yuki Ohara, Masanori Iwasaki, Kayoko Ito, Junko Nakajima, Takae Matsushita, Takashi Tohara, Mayumi Sakamoto, Masataka Itoda, Ken Inohara, Yoshie Ozaki, Rikimaru